

東北新幹線 はやぶさ19号 車両点検に伴う運転見合わせについて

2024年11月8日（金）12時34分頃、東北新幹線はやぶさ19号は一ノ関駅で車両点検を行い、パンタグラフに異常が発見されました。当該車両と架線設備の点検を行った後、15時45分に全線にて運転を再開しました。

多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

本事象について、これまでに判明した状況についてお知らせします。

1. 概況

2024年11月8日（金）12時34分頃、東北新幹線はやぶさ19号（東京発・新函館北斗行 E5系10両）は古川～くりこま高原間を走行中に緊急停止信号を受信し、一ノ関駅停車中に車両点検を行ったところ、パンタグラフの損傷を発見しました。

はやぶさ19号はパンタグラフの処置を行い、14時11分に一ノ関駅から速度を落として運転を再開しました。また、架線設備の点検を行い、東北新幹線は全線で15時45分に速度を落として運転を再開しました。架線設備の点検を行ったところ、古川～くりこま高原間の下り線において架線金具の損傷が確認されたことから、この区間を除き、17時46分に通常速度での運転を再開しました。

終電から始発までの夜間帯で、古川～くりこま高原間下り線において架線設備の復旧作業を行いました。また、大宮～一ノ関間下り線の架線設備について、至近距離からの目視点検が完了したことから、11月9日（土）の始発より平常どおり運転を再開しました。

なお、本事象によりお怪我をされたお客さまは確認されておりません。

列車影響

運 休 下り10本 上り9本 計19本

遅 れ 下り64本 上り52本 計116本 （はやぶさ・こまち25号に最大148分の遅れ）

影響人員 約67,000人

2. 点検結果

2-1. はやぶさ19号車両の点検結果【別紙1】

一ノ関駅での停車中に車両点検を行ったところ、E5系10両単独編成の3号車パンタグラフにおいて、トロリ線と直接接触して通電するスリ板の一部が欠損していることが確認されました。その後、損傷した3号車のパンタグラフを降下させ、7号車の健全なパンタグラフを上昇させて、運転を再開しました。

また、はやぶさ19号を除いた東北新幹線を走行する全編成についても、パンタグラフの点検を実施し、3編成においてパンタグラフの一部部品に変形などの異常が確認され、処置を実施しております。

2-2. 架線設備の点検結果【別紙2】

11月8日（金）に大宮～一ノ関間下り線において列車先頭からの架線設備の確認を行いました。点検の結果、古川～くりこま高原間下り線で架線金具5箇所に損傷（うち2本は脱落）が確認されました。

そのため、古川～くりこま高原間下り線で、終日速度を落として運転を行いました。

また、同日の終電後に、大宮～一ノ関間下り線の架線設備について、保守用車を用いて至近距離からの目視点検を行いました。

点検の結果、新たに9箇所においてトロリ線の側面に傷が確認されましたが、列車の運行には支障がないことを確認しました。

また、古川駅周辺（駅から約2km）の民地において、脱落していた架線金具2本（1本あたり重さ約1.5kg、長さ約1.2m）が落下していることが確認されました。

なお、これによる、けが人は確認されておりません。

3. 原因

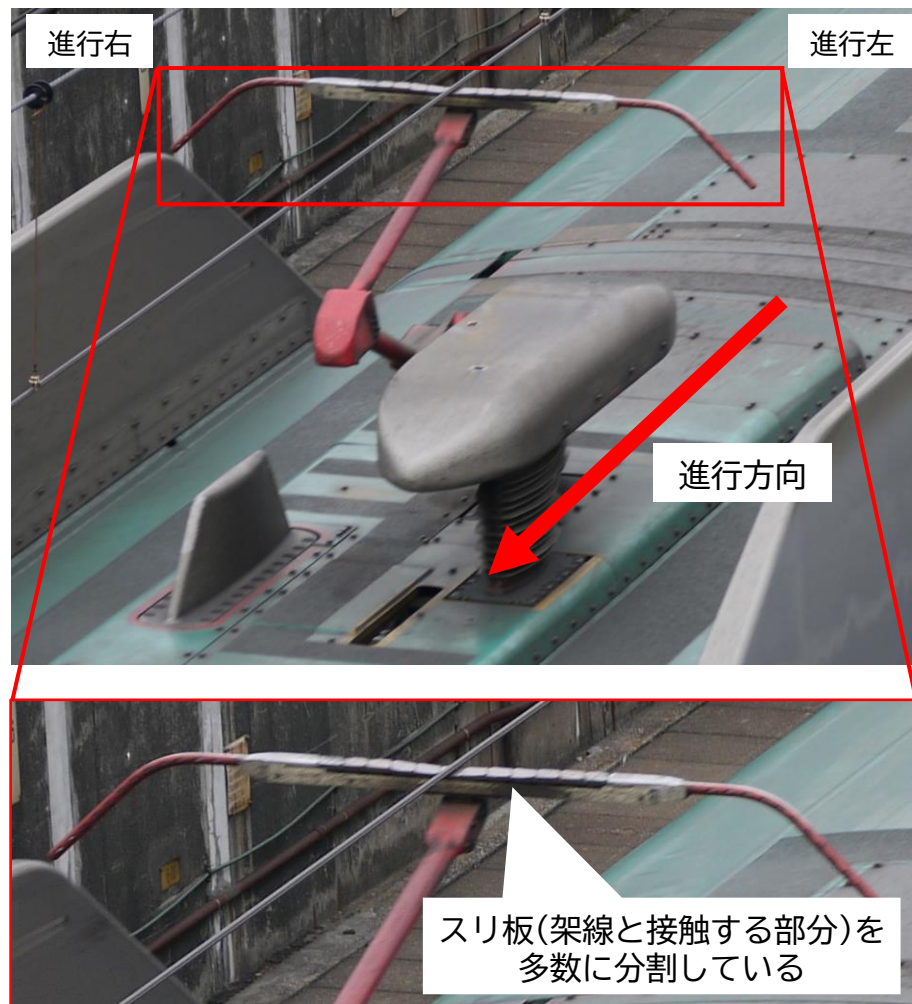
調査中

4. 今後の対応

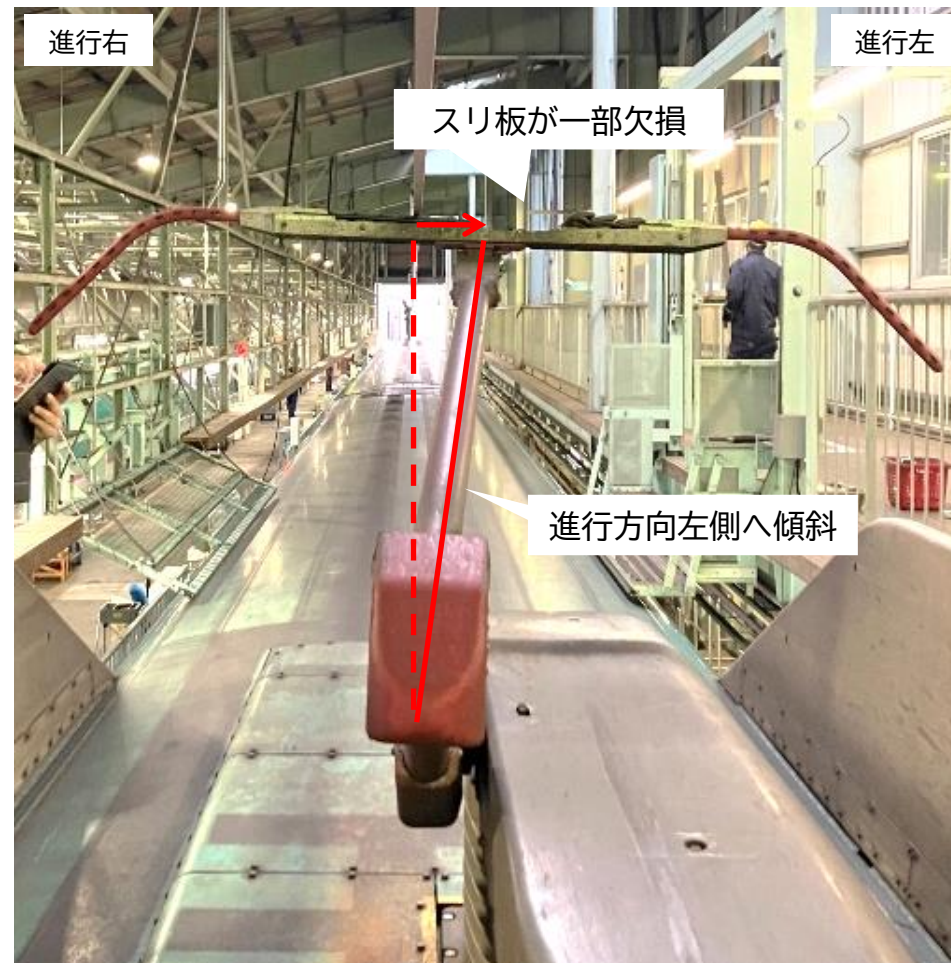
本事象について、速やかに原因究明を行い、必要な対策をとってまいります。

多くのお客さまに、ご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

別紙1 パンタグラフの損傷状況

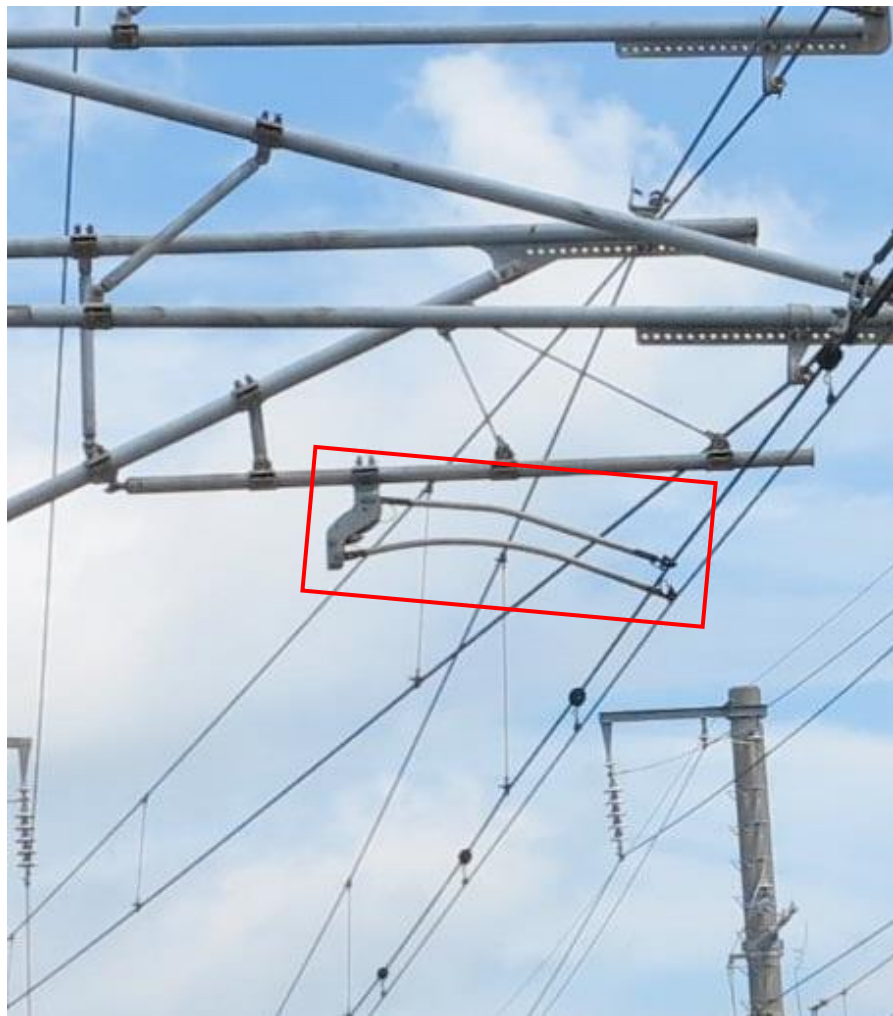


E5系パンタグラフ (通常状態)

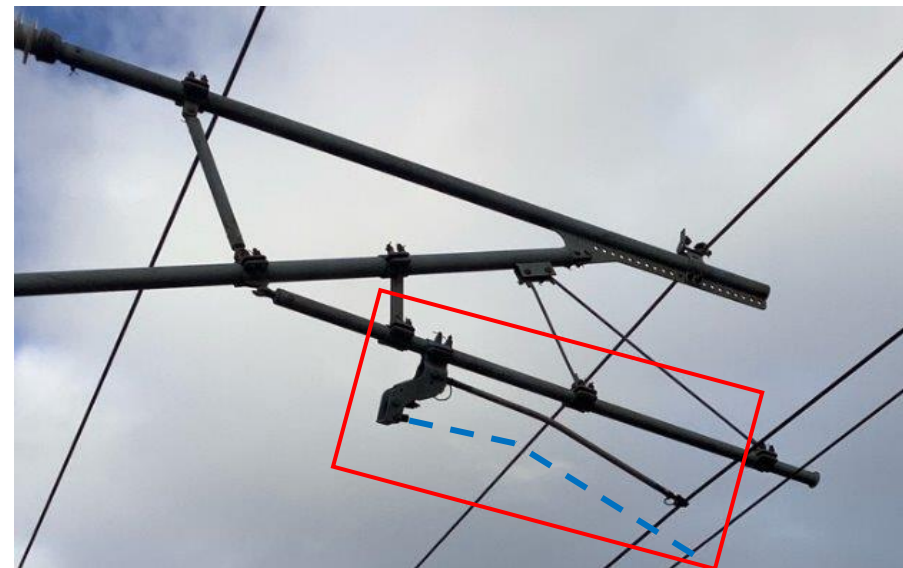


パンタグラフの損傷状況

別紙2 地上設備の損傷状況



架線金具（通常状態）



架線金具の脱落（青線部が脱落）



脱落した架線金具